



どのようなことを心がけるべきかについて、講師からの話題提供をふまえて議論したいと思います。

アーリーキャリアの URA/研究支援者の皆様、そして、新たな環境に移られて研究支援業務に携わられている方など、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## 2. 開催日時

令和3年12月16日(木) 16:20~18:00

## 3. 開催方法

Zoomによるオンライン開催

## 4. 内容

第13回研究会テーマ「URA・研究支援者の楽しみ方」

16:20~16:30 開会、趣旨説明

16:30~17:10 講演 香川大学 産学連携・知的財産センター長  
永富 太一 准教授

大学において「URA」という職種の認知度が低いころからキャリアをスタートさせた香川大学 永富先生を講師に迎え、どのようなことに苦勞し、どのように乗り越えて、「楽しみ」を見出しながら活動されてきたかお話しいただきます。URA や研究支援者の「楽しみ方」を通じていかに大学の中で必要とされる存在として活動されてきたかを参加者の皆様と共有していただきます。

17:10~17:40 グループワーク

参加者の皆様から、担当業務を含む自己紹介と URA・研究支援者の「面白いと思うところ」や「つらいと思うところ」をご共有いただき、「大学（研究者）に必要とされるためにどうあるべきか」について議論をいただきます。

17:40~18:00 グループワークの共有・講師からのコメント

## 5. 対象および参加費

URA・研究支援業務従事者等（会員以外も参加可能）。参加費は無料。

6. 申込締切

令和3年12月10日（金）

7. 参加申込

下記の Web フォームからお申し込みください。

フォームでのお申し込み後、別途、当日の ZoomURL 等をご連絡いたします。

<申し込みフォーム>

<https://forms.office.com/r/M6RvX9Tz89>

8. 問い合わせ先

ra-sangaku@j-sip.org （RA 研究会専用アドレス）

その他、お問い合わせ、RA 研究会への加入希望等ございましたら、同アドレスにご連絡をお願いいたします。

代 表 馬場大輔（経済産業省）

幹 事 原田 隆（東京工業大学）

伊藤慎一（秋田大学）

高橋朗人（秋田大学）

梶野顕明（茨城大学）

平山太市（茨城大学）

以上